

《五郎田遺跡の発掘調査がはじまりました》

長野県埋蔵文化財センターでは、4月17日から国道153号拡幅工事に伴う地点の発掘調査を開始しました。また、5月17日からはリニア中央新幹線建設工事に伴う地点の発掘調査も開始しました。前者は9月、後者は12月まで調査を予定しています。



《国道153号拡幅地点》

令和4年度から調査を開始しました。調査区は国道沿いにあり、今年度は中央部分（2・3区）の調査をおこないます。

昨年度の調査で、北部（1区）には流路跡、南部（4区）には平安時代の竪穴建物跡3軒と弥生時代～平安時代の土坑89基、時期不明の溝跡1条がみつかりました。出土した遺物から竪穴建物跡は、平安時代の遺構と考えています。土坑のなかには古墳時代の遺物がまわって出土したのもありました。また、柱穴と思われる穴が並ぶ場所もあり、掘立柱建物跡の可能性を考えています。

今年度は3区の調査から開始しています。かく乱によって深く削られている部分が多く、遺構の残りは悪いものの、これまでに10軒ほどの竪穴建物跡や20基ほどの土坑がみつかりました。土の色や質の異なる部分はまだあるので、さらに遺構の数は増えそうです。遺物は弥生時代から平安時代の土器片がたくさん出土しています。また弥生時代の石鏃などの石器もみつかりました。



3区の調査風景

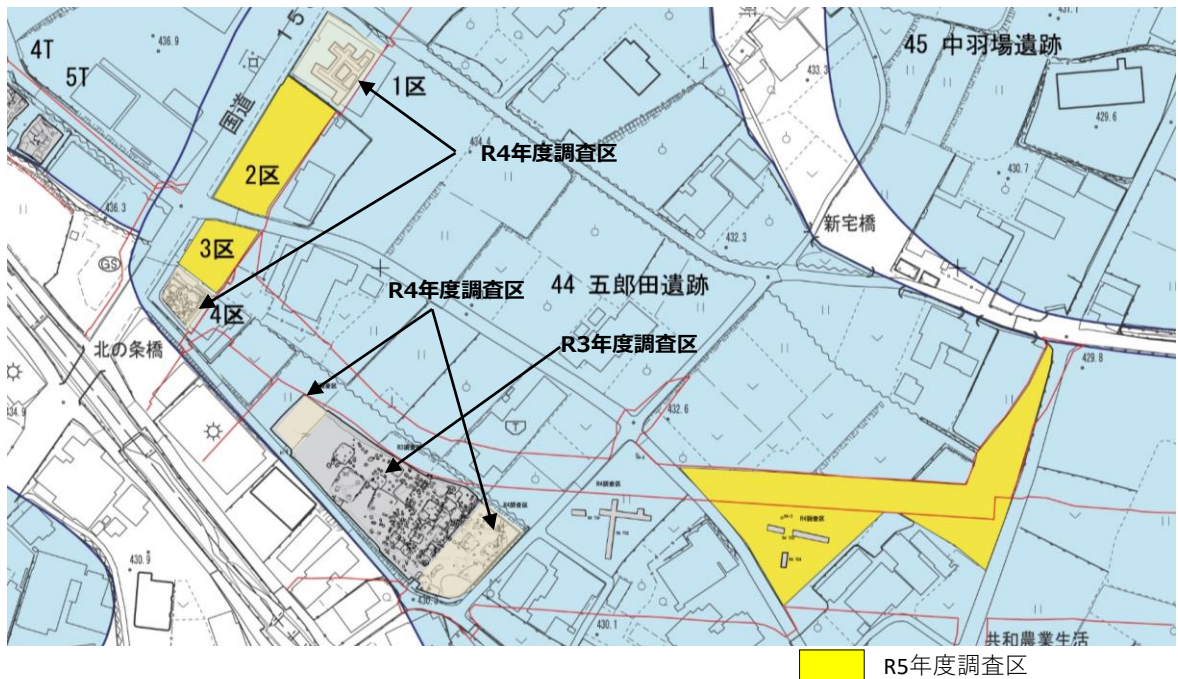


竪穴建物跡の調査風景

《リニア中央新幹線地点》

令和3・4年度に発掘調査をおこない、弥生時代から平安時代の竪穴建物跡44軒、掘立柱建物跡8棟、土坑約500基などがみつかっています。遺構も遺物の出土量も多いことから、土曾川左岸にも大規模な集落が広がっていたことがわかってきました。特に、建て替えの痕跡がある3間×4間以上の大形の掘立柱建物跡がみつき、長期間にわたって利用されたと思われます。西側では、土曾川に向かって流れる流路跡がみつき、国道拡幅地点の1区から続くものと考えられます。

今年度の調査区は、昨年度におこなった確認調査の結果から、すでに遺構の存在がはっきりしたため調査が楽しみです。



期間中、大型重機等の車両が入り出しますので十分ご注意ください。また、調査区域内には危険な場所もありますので、許可なく立ち入らないようお願いいたします。発掘の見学をご希望される場合は、事前にそれぞれの担当者までご連絡ください。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



長野県埋蔵文化財センター 飯田支所

〒395-0151 飯田市北方297-5

電話：0265-49-0736

メール：maibun@naganobunka.or.jp

H P：<https://naganomaibun.or.jp/>

国道153号拡幅 担当：長谷川桂子

宮脇 正実

鈴木 時夫

リニア中央新幹線 担当：綿田 弘実/大泰司統

支援業務 (株)シン技術コンサル

中西孝和/菊池康一郎/小林一弘/

北村和穂

携帯：080-7834-9422

携帯：080-9560-1354